

# くさか景子の

## ちょっとよろしいですか！

と



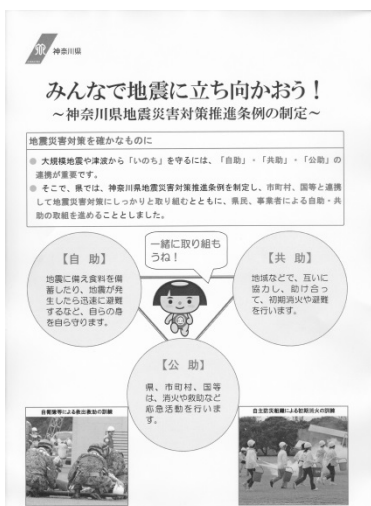
### 地震災害に備えよう！

4月14日、震度7の地震に見舞われた熊本地方の被災者に心よりお見舞い申し上げます。

熊本県では、約1万棟の建物損壊が起こり、多くの方が被災され、2次災害や関連死も生まれています。隣接する複数の活断層で地震が連鎖的に発生しています。まだまだ予断できない状況です。

同様に活断層が集中する地域は神奈川県内にもあります。特に三浦半島、県西部の国府津松田断層帯に集中しています。先日、1年前の箱根山の噴火により大涌谷の立ち入り禁止だったロープウェイも再開し、黒たまごも復活しました。しかし、首都直下型地震や相模トラフ・南海トラフ地震の危険もあり、神奈川県でもいつ地震が起こるかわかりません。

神奈川県では、平成28年3月、新たに地震防災戦略をたて、自分の身は自分で守る、自助の重要性を訴え、防災・減災に取り組んでいます。



神奈川県地震防災戦略

### 「通電火災」対策は急務！

マグニチュード7級の首都直下地震が起きた場合、死者は1都3県で約2万3千人、このうち火災の死者が約1万6千人で7割を占めると試算されています。阪神淡路大震災の時には、通電火災が全火災の6割起こっています。

特に茅ヶ崎市内では、住宅密集地の南側で、延焼火災率（クラスター率）が高いので、道路のセットバックや空き地を増やすなどの対策がとられています。

### くさか景子のほっとコラム

自宅にも「感震ブレーカー」を設置しました！

内閣府では、平成27年3月、今後10年間で「感震ブレーカー」の設置率25%目標を決めました。大地震の際に通電火災を防ぐため、木造住宅が多い市街地への設置が本格化します。茅ヶ崎市でもモニターを行っています。

避難時にブレーカーのスイッチを切って逃げる余裕はないと思われるので、震度5以上になると、自動で確実にスイッチが切れる感震ブレーカーアダプターを積極的に取り付けましょう。



耐震ブレーカーアダプターヤモリ

くさか景子は、安全保障関連法案に反対しています。



# 共生イレブン(11の重要政策)で 能力の発揮を阻む“格差の壁”を打ち破る

## 教育格差の壁を打ち破る



～「子どもの貧困」と戦う～

**1** ひとり親家庭をバックアップ  
ひとり親家庭に給付する児童扶養手当の給付額を大幅アップ、現在の支給年齢18歳を20歳に引き上げ。

## 雇用格差の壁を打ち破る



**3** 非正規の雇用を制限する  
期限に定めのある雇用(有期雇用)は、業務自体に期限があるなど合理的な理由にある場合に限定する。

**4** 最低賃金を平均1000円に  
全ての人に保障される最低賃金(時給・全国平均798円)を、2020年までに1000円に引き上げる。

**5** 介護職・保育職の待遇改善  
待機児童ゼロを実現するため、保育職の賃金を月額5万円引き上げる。また介護離職ゼロに向けて介護職の賃金を月額1万円引き上げる。

**6** 会社で働いていれば原則、厚生年金加入に  
中小企業に適切な支援を行いつつ、原則、会社で働く人全てが厚生年金に加入する仕組みにする。



## 男女格差の壁を打ち破る



**7** 同一価値労働同一賃金を法律で定める  
性別、雇用形態に関わりなく、同じ仕事をしていれば同じ賃金とする「同一価値労働同一賃金」を法律で定める。

**8** 選択的夫婦別姓を法律で定める  
結婚によって多くの女性が姓の変更を求められている現状を改めるため、「選択的夫婦別姓」を法律で定める。

**9** 低年金者の年金をかさ上げ  
高所得の年金受給者に対する年金給付の一部(税金から給付されている部分)を減額し、これを女性に多い低年金者に対する給付のかさ上げに充てる。

## 長時間労働の壁を打ち破る



**10** 家庭と職場の両立ができる社会を  
長時間労働が子育て・介護と仕事の両立の障害となり、格差を拡大させ、少子化の要因となっている。現在、事実上無制限の残業時間を法律で明確に上限を設ける。また終業から翌日の始業までに十分なインターバル(休息時間)の確保を義務づける。インターバルの時間は最終的に11時間を目指す。

共生



## “格差の壁”を打ち破る財源



**11** 公正な分配  
株式の配当や譲渡益にかかわる金融所得課税の税率を25%(現行20%)引き上げ、格差の壁を打ち破る政策の財源に充てる。将来的には高所得者や高資産保有者に対する課税の累進度を高める。

イレブン



民進党は誰も置き去りにしない社会、共生社会を実現する

